

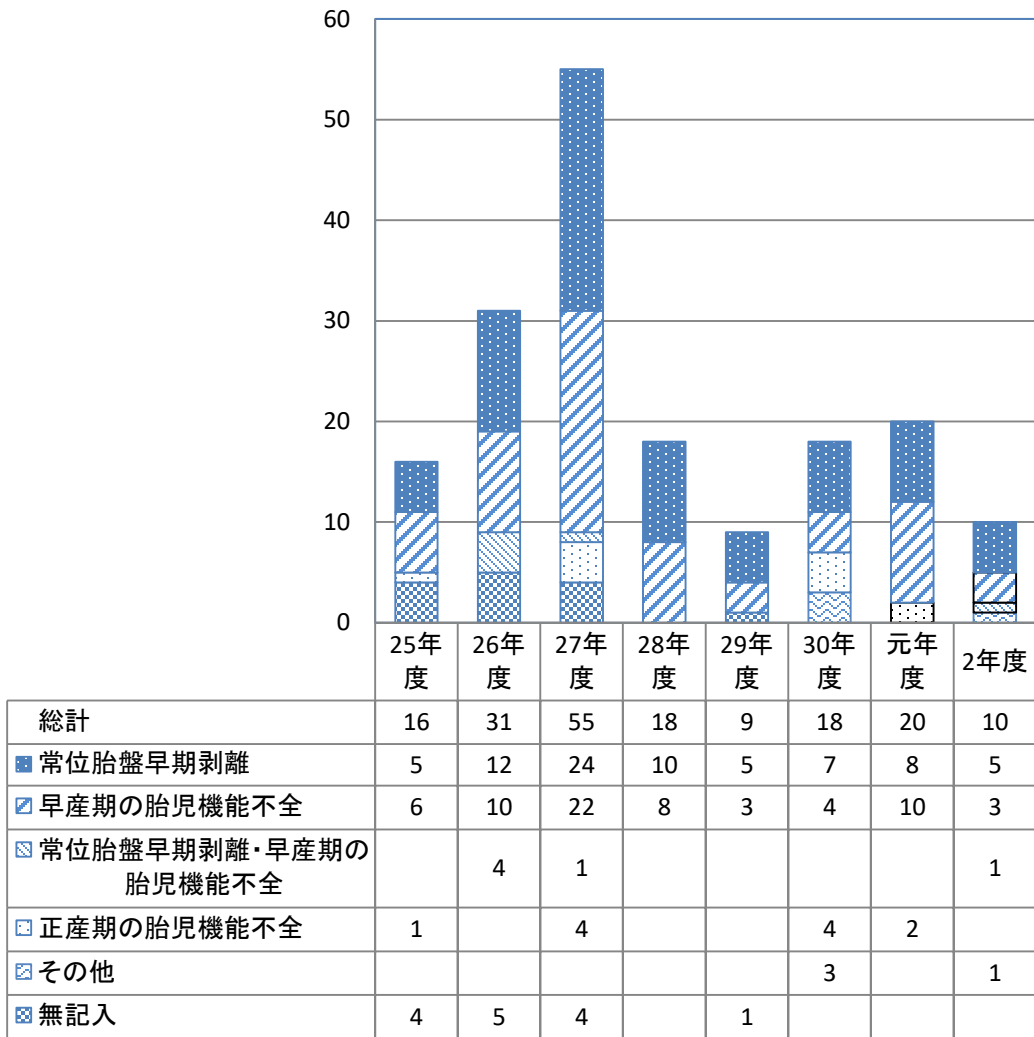
東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況

平成25年11月1日から令和3年3月31日報告受理分 177件

1 要請理由

○ 常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。

n=177 (母体)



2 要請理由別搬送元施設と受入先施設

- 全体では総合周産期母子医療センターが136件（76.8%）、地域周産期母子医療センターが33件（18.6%）、周産期連携病院が8件（4.5%）だった。
- 搬送依頼元は診療所が87件（49.1%）、病院が61件（34.5%）だった。
- ブロック内の総合周産期母子医療センターでの受け入れは、全体で110件（62.1%）だった。

n=177（母体）

要請理由	依頼元施設		総計	総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	周産期連携病院	病院	診療所	助産所
	受入先施設								
常位胎盤早期剥離	総計		76	2		3	22	49	
	総合周産期母子医療センター		54	1		3	18	32	
	地域周産期母子医療センター		19	1			4	14	
	周産期連携病院		3						3
早産期の胎児機能不全	総計		66	8	6	7	25	20	
	総合周産期母子医療センター		54	7	5	7	19	16	
	地域周産期母子医療センター		10	1	1		5	3	
	周産期連携病院		2				1	1	
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計		6				3	3	
	総合周産期母子医療センター		5				2	3	
	地域周産期母子医療センター		1				1		
	周産期連携病院		0						
正期産の胎児機能不全	総計		11				1	8	2
	総合周産期母子医療センター		8				1	5	2
	地域周産期母子医療センター		2					2	
	周産期連携病院		1					1	
その他(1)・無記入	総計		18			1	10	7	
	総合周産期母子医療センター		15				9	6	
	地域周産期母子医療センター		1			1			
	周産期連携病院		2				1	1	
合計	総計		177	10	6	11	61	87	2
	総合周産期母子医療センター		136	8	5	10	49	62	2
	地域周産期母子医療センター		33	2	1	1	10	19	0
	周産期連携病院		8	0	0	0	2	6	0

○ 要請理由別 受入先施設

要請理由	受入施設		総合周産期母子医療センター		地域周産期母子医療センター		周産期連携病院		合計	
	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外
常位胎盤早期剥離	47	7	16	3	3		66	10		
早産期の胎児機能不全	38	16	7	3	1	1	46	20		
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1	1				5	1		
正期産の胎児機能不全	6	2	1	1	1		8	3		
その他(1)・無記入	15			1	2		17	1		
合計	110	26	25	8	7	1	142	35		

3 要請理由別搬送元地域（ブロック）と受入先地域（ブロック）

- 全体では80.2%がブロック内の医療機関で受け入れられていた。
 早産期の胎児機能不全では、30.3%がブロック外での受入だった。

n=177（母体）

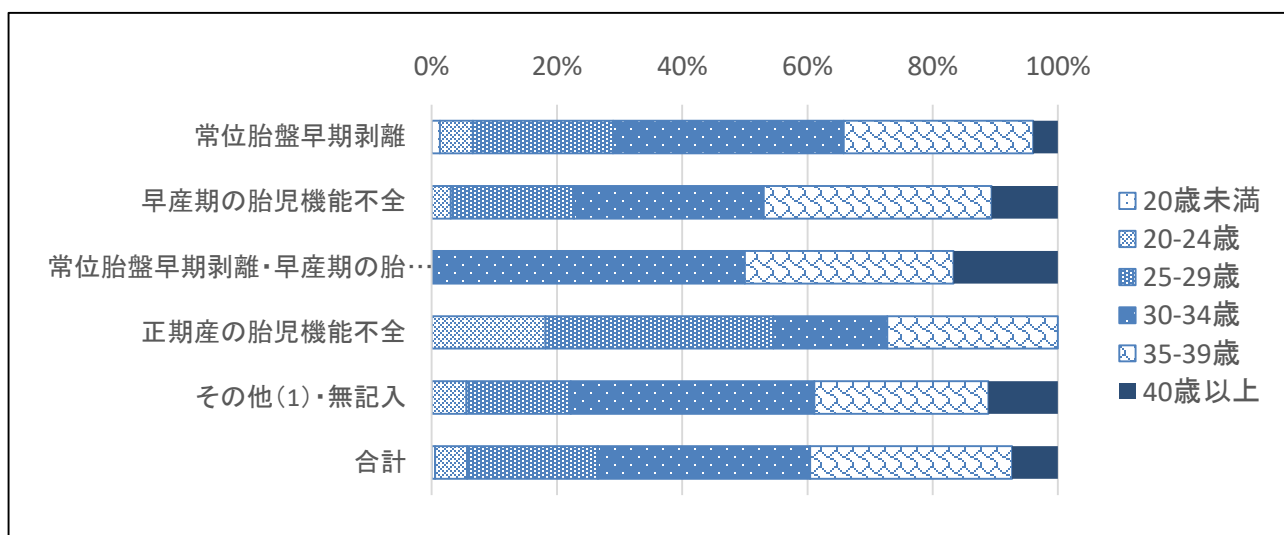
要請理由	依頼元地域		総計	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	多摩地域
	受入先地域										
常位胎盤早期剥離	総計		76	3	2	21	3	6	19	16	6
	区中央部		8	3	1			1	2	1	
	区南部		0								
	区西南部		22		1	20				1	
	区西部		4			1	3				
	区西北部		5					5			
	区東北部		15						15		
	区東部		16						2	14	
	多摩地域		6								6
	早産期の胎児機能不全	総計		66	3	3	13	5	5	7	9
区中央部			5	3		1	1				
区南部			4		1	2					1
区西南部			18		2	10	2	1			3
区西部			2				1				1
区西北部			4					3	1		
区東北部			4					1	3		
区東部			12						3	9	
多摩地域			17				1				16
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全		総計		6			1	1	1	1	2
	区中央部		0								
	区南部		0								
	区西南部		1			1					
	区西部		1				1				
	区西北部		0								
	区東北部		2					1	1		
	区東部		2							2	
	多摩地域		0								
	その他	総計		29	2	1	4	1	5	2	2
区中央部			0	2							
区南部			1		1						
区西南部			5	1		4					
区西部			2				1				1
区西北部			6	1				5			
区東北部			3						2	1	
区東部			1							1	
多摩地域			11								11
合計		総計		177	8	6	39	10	17	29	29
	区中央部		13	6	1	1	1	1	2	1	0
	区南部		5		2	2					1
	区西南部		46	1	3	35	2	1		1	3
	区西部		9			1	6				2
	区西北部		15	1				13	1		0
	区東北部		24					2	21	1	0
	区東部		31						5	26	0
	多摩地域		34				1				33

4 母の年齢

- 全体では35歳未満が107人（60.5%）と多く、35歳以上は70人（39.5%）
 常位胎盤早期剥離は35歳未満が50人（65.8%）、35歳以上は26人（34.2%）
 早産期の胎児機能不全では35歳未満が35人（53.0%）、35歳以上は31人（47.0%）だった。

n=177（母体）

要請理由	母体年齢	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上	合計
常位胎盤早期剥離		1	4	17	28	23	3	76
早産期の胎児機能不全			2	13	20	24	7	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全					3	2	1	6
正期産の胎児機能不全			2	4	2	3		11
その他（1）・無記入			1	3	7	5	2	18
合計		1	9	37	60	57	13	177



- 要請理由別 母の年齢の最小値・最大値・平均値・中央値

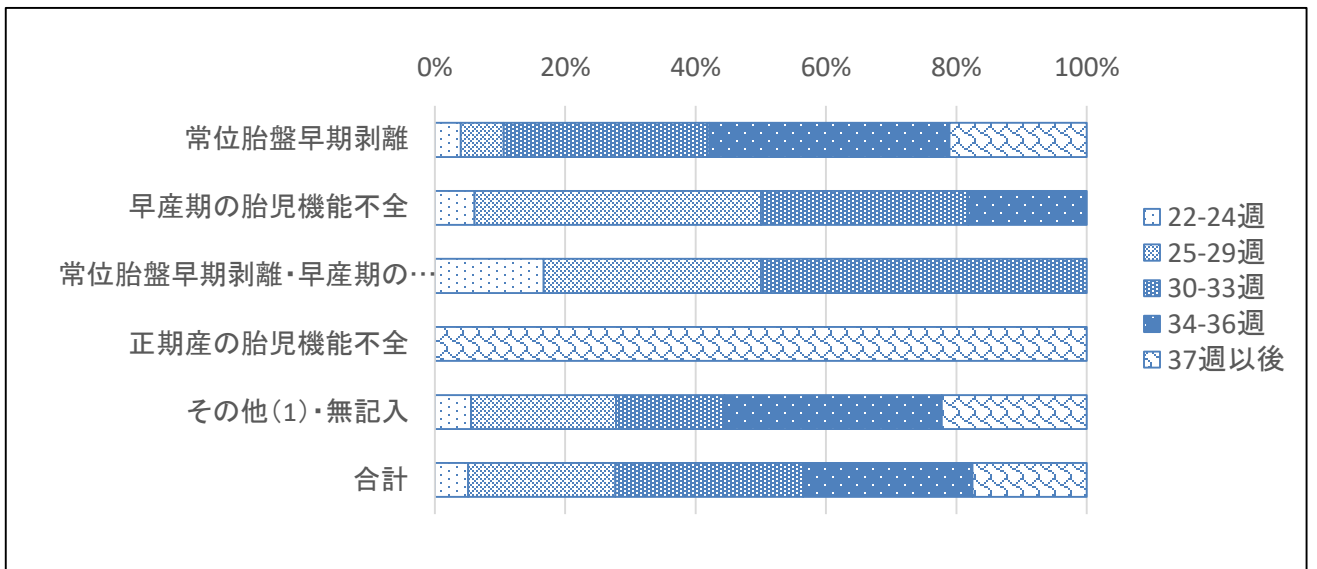
要請理由	母体年齢	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離		19	43	32.03
早産期の胎児機能不全		20	43	33.49
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		31	40	35.80
その他・無記入		22	42	32.00
合計		19	43	32.67

5 妊娠週数

- 全体では30-33週が51人（28.8%）と最も多く、37週未満が146人（82.5%）
 常位胎盤早期剥離は34-36週が28人（36.8%）、37週未満は60人（78.9%）
 早産期の胎児機能不全では25-29週が29人（43.9%）、34週未満が54人（81.8%）だった。

n=177（母体）

要請理由	妊娠週数	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
常位胎盤早期剥離		3	5	24	28	16	76
早産期の胎児機能不全		4	29	21	12		66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	3			6
正期産の胎児機能不全						11	11
その他（1）・無記入		1	4	3	6	4	18
合計		9	40	51	46	31	177



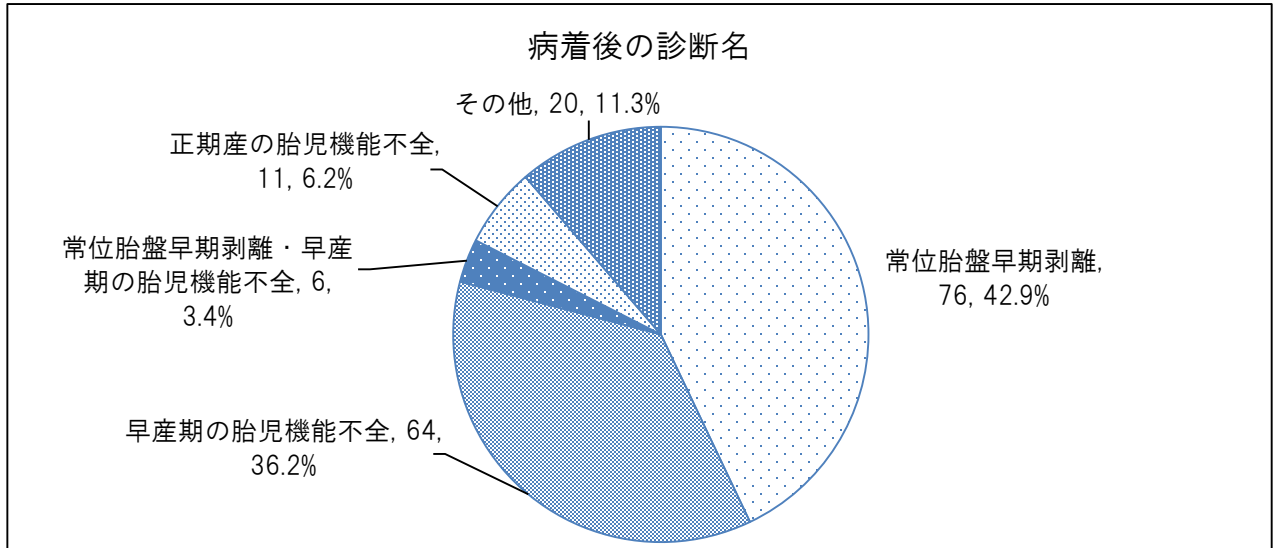
- 要請理由別 妊娠週数の最小値・最大値・平均値・中央値

要請理由	妊娠週数	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離		22	40	33.59
早産期の胎児機能不全		22	36	29.62
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		24	32	29.00
その他・無記入		23	42	35.10
合計		22	42	32.2

6 病着後の診断名

- 搬送受入れ後の診断名は常位胎盤早期剥離が76件（42.9%）、早産期の胎児機能不全が66件（37.3%）であった。
- その他は18件（10.2%）で、子宮内胎児死亡、一過性胎児除脈、胎動減少、足位の陣発（早産期）・排臨、切迫早産、前期破水・臍帯下垂（骨盤位）などであった。

n=177（母体）



○ 要請理由別 病着後の診断名

要請理由	病着後の診断名	常位胎盤早期剥離	早産期の胎児機能不全	常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	正期産の胎児機能不全	その他	データ数
常位胎盤早期剥離		67	3	2		4	76
早産期の胎児機能不全		1	57	1		7	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		2		3		1	6
正期産の胎児機能不全					10	1	11
その他(1)・無記入		6	4		1	7	18
合計		76	64	6	11	20	177

7 病着まで（要請から病着まで）

- 搬送要請時刻と病着時刻が分かっているのは147件であった。
- 147件の病着までの時間の平均は約56分であった。
- 147件の病着までの時間の最小値は8分、最大値は3時間48分であった。

○ 要請理由別 要請から病着までの時間

要請理由	要請から病着までの時間	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	データ数
常位胎盤早期剥離		12	34	15	5	1	9	76
早産期の胎児機能不全		3	24	16	4	3	16	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	4	1	0	0	0	6
正期産の胎児機能不全		1	7	1	0	0	2	11
その他(1)・無記入		1	6	5	2	1	3	18
合計		18	75	38	11	5	30	177

○ 要請理由別 要請から病着までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	病着までの時間		最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離			17分	3時間48分	53分	67
早産期の胎児機能不全			13分	3時間30分	60分	50
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全			22分	1時間	40分	6
その他・無記入			8分	2時間5分	57分	24
総数			8分	3時間48分	56分	147

8-1 分娩まで（要請から分娩まで）

- 搬送要請時刻と分娩時刻が分かっている149件中、搬送要請から24時間以内に分娩となったのは135件であった。
- 135件の分娩までの時間の最小値は33分、最大値は19時間39分であった。

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間

要請理由	要請から分娩までの時間						(再) 24時間以上	不明等	妊娠継続	データ数
	1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間～6時間未満	6時間以上					
常位胎盤早期剥離	9	27	7	21	4	3	5	3	68	
早産期の胎児機能不全	2	3	3	25	14	9	11	8	47	
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	0	2	3	0	0	0	0	1	5	
正産期の胎児機能不全	2	4	0	4	1	0	0	0	11	
その他(1)・無記入	1	1	4	8	4	2	2	0	18	
合計	14	37	17	58	23	14	18	12	149	

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	分娩までの時間		最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離			41分	242時間26分	7時間2分	68
早産期の胎児機能不全			55分	313時間44分	34時間16分	47
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全			1時間26分	1時間57分	1時間37分	5
その他・無記入			33分	117時間57分	7時間49分	29
総数			33分	313時間44分	15時間36分	149

8-2 分娩まで（病着から分娩まで）

病着後の診断名	病着から分娩までの時間						不明	妊娠継続	データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上				
常位胎盤早期剥離	29	18	8	0	12	6	2	67	
胎児機能不全	7	11	6	3	33	9	6	60	
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全	1	3	0	1	1	1	0	6	
その他・無記入	1	1	1	1	8	6	4	12	
合計	38	33	15	5	54	22	12	145	

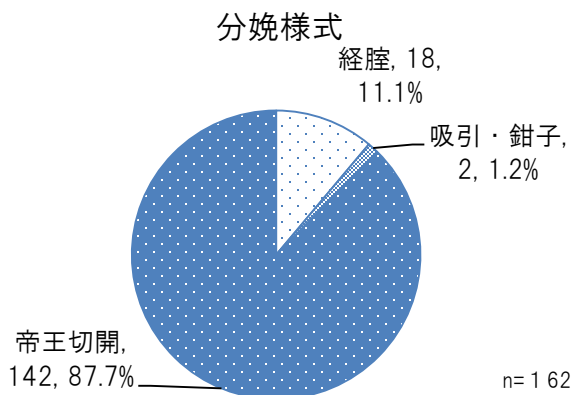
○ 病着後の診断名別 病着から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

病着後の診断名	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離		9分	242時間6分	6時間14分	67
胎児機能不全		4分	312時間19分	25時間19分	60
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全		27分	3時間25分	1時間16分	6
その他・無記入		23分	128時間4分	23時間17分	12
総数		4分	312時間19分	15時間11分	145

9 分娩様式

- 分娩様式は87.7%が帝王切開であった。
- 経膣分娩のうち、死産が5件（内1件は子宮内胎児死亡）であった。

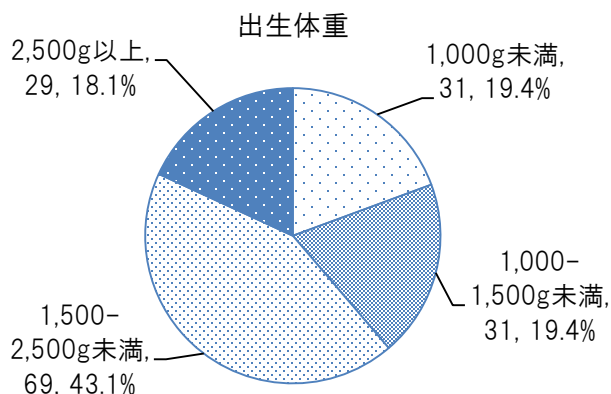
分娩様式	件数
経膣	18
吸引・鉗子	2
帝王切開	142
-妊娠継続	12
-母転院	1
-不明	2



10 出生体重

- 出生体重は267gから3,785gに分布していた。
- 出生体重の平均は1,797.79gであった。

出生体重	
最小	267
最大	3,785
平均	1,797.79



11 アプガースコア

- アプガースコアの判明している159人のうち、1分後4点未満は53人（33.3%）、4～6点は34人（21.4%）であった。
- 5分後のアプガースコアが判明している157人のうち、0～3点は19人（12.1%）であった。

	AP 1分後	AP 5分後
0～3点	53	19
4～6点	34	28
7点以上	72	110
死産	1	2
挿管	1	1
母転院	1	1
妊娠継続	12	12
不明	5	6

全体	AP5分後											死産	挿管	母転院	妊娠継続	不明	合計
AP1分後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
0	9	1		1													12
1		2	3	2	2	6	2	1	1								19
2			1			2	5	2	2	1							13
3						1	4	2		2							9
4							1	1	5	1	5						13
5							1	2	3	2	4				1		13
6							1	3	2	2							8
7								1	6	5							12
8								1	5	40	1						47
9										7	6						13
10																	0
死産												1					1
挿管													1				1
母転院														1			1
妊娠継続															12		12
不明																5	5
合計	9	3	4	3	2	11	15	18	19	66	7		2	1	1	12	179

- 要請理由別 アプガースコア

要請理由	AP1分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		23	10	37	3	3	76
早産期の胎児機能不全		21	16	17	4	8	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		3	1		1	1	6
その他・無記入		6	7	18			31
総数		53	34	72	8	12	179

要請理由	AP5分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		8	7	55	3	3	76
早産期の胎児機能不全		8	14	30	6	8	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	1	1	1	6
その他・無記入		2	5	24			31
総数		19	28	110	10	12	179

12 臍帯動脈血pH

- 臍帯動脈血 pHが不明の児及びIUFDの児を除いた出生児141人の臍帯動脈血 pHは、6.594から7.520に分布していた。
- 平均は7.215であった。

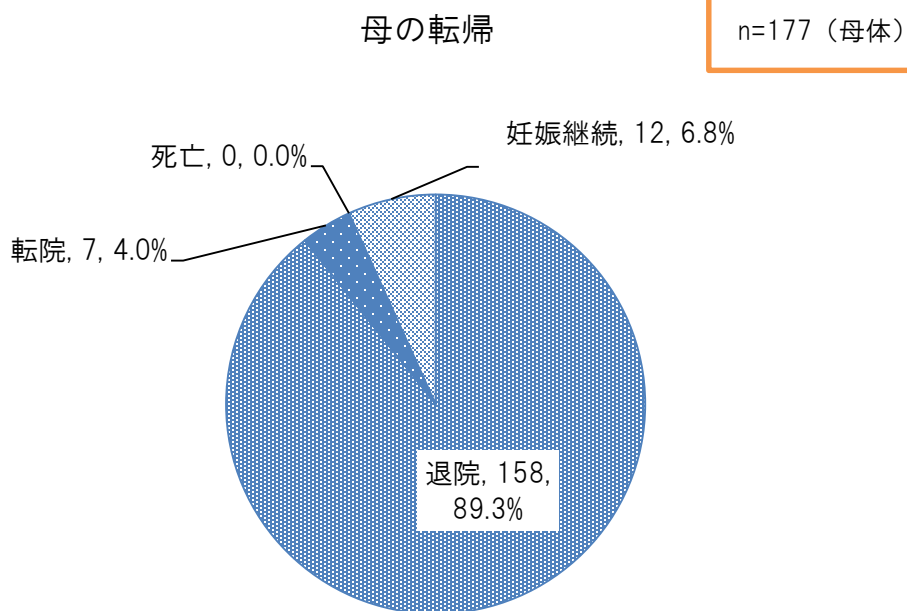
臍帯動脈血PH	
最小	6.594
最大	7.520
平均	7.215
7.00未満	19
7.00～7.15未満	16
7.15～7.39未満	94
7.39以上	12
死産	7
妊娠継続	12
母転院	1
不明	18

○ 要請理由別 臍帯血 pH

要請理由 \ 臍帯血pH	7.00未満	7.00～7.15未満	7.15～7.39未満	7.39以上	不明等	死産	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離	16	6	40	5	5	1	3	76
早産期の胎児機能不全	1	5	35	3	9	5	8	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	2	2				1	6
その他・無記入	1	3	17	4	5	1		31
総数	19	16	94	12	19	7	12	179

13 母の転帰

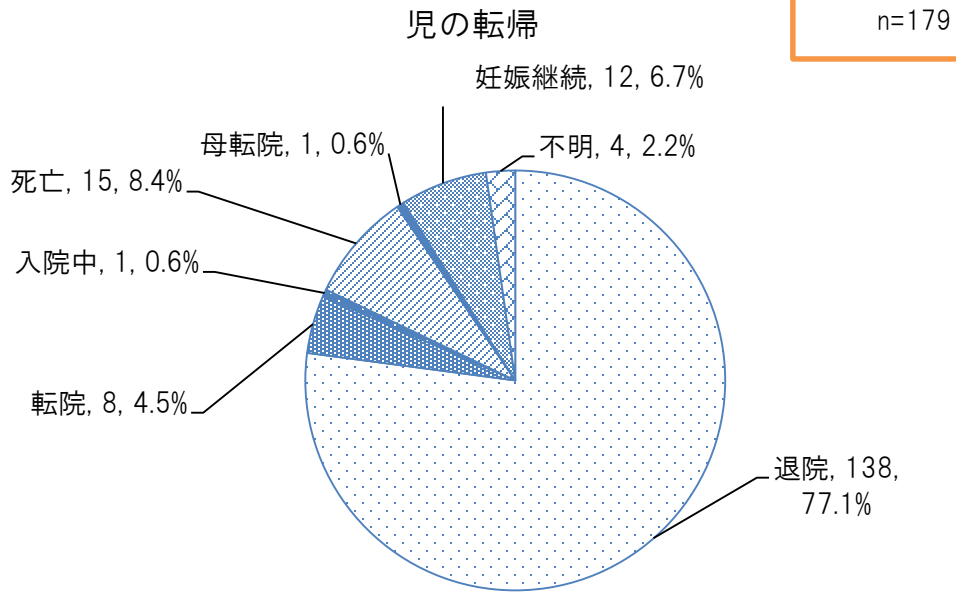
○ 母の転帰は89.2%が退院であり、死亡したものはなかった。



要請理由	母の転帰	退院	転院	死亡	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		70	3		3	76
早産期の胎児機能不全		54	4		8	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		5			1	6
正期産の胎児機能不全		11				11
その他(1)・無記入		18				18
合計		158	7	0	12	177

14 児の転帰

- 児の転帰は退院が138人（77.1%）、転院が8人（4.5%）であった。
- 死亡した15人は、死産が9人、その他6人であった。



要請理由	児の転帰							合計
	退院	転院	入院中	死亡	母転院	妊娠継続	不明	
常位胎盤早期剥離	66	1		4		3	2	76
早産期の胎児機能不全	40	4	1	10	1	8	2	66
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1				1		6
正期産の胎児機能不全	10	1						11
その他(1)・無記入	18	1		1				20
合計	138	8	1	15	1	12	4	179